

# このままでは

# つくれない！

## 伝統構法の家が

2007年6月の建築基準法の厳格化により、  
基準法に位置づけのない伝統構法は  
つくりにくい事態に陥っています。

一方で、伝統構法を数値化し、

基準法の中に位置づけを与えるようという動きも、  
国では始めています。

現場のつくり手、国交省の担当官、学者。  
関係者が一同に集まり、

じっくり議論を尽くすフォーラムを行います。

- ・伝統構法はこれからどこへ向かうのか。
- ・どうなつていくべきなのか。

この場に立ち会って、考えてください、あなたも。

**7月12日(土) 13:00 ~ 18:00 (開場 12:15)**  
**会場：工学院大学 3F アーバンテックホール**

新宿駅南口より徒歩 8 分  
都営大江戸線都庁前より徒歩 5 分

**定員： 250名**  
電話、FAX、メールでお申込みください

**参加費： 2000円**

**Web : <http://kino-ie.net/action/>**  
(「職人がつくる木の家ネット」内特設ページ)

**■ 主催**  
これからの木造住宅を考える連絡会（これ木連）

**■ 問合せ・申込み**  
これからの木造住宅を考える連絡会 事務局  
(日本民家再生リサイクル協会内 担当：金井)  
Tel : 03-5216-3541 Fax : 03-5216-3542



E-mail : info@minka.jp

**13:00 ~ 現場報告 「このままでは伝統構法の家がつくれない！」**

綾部工務店 綾部孝司氏  
すまい塾古川設計室 古川保氏

**13:50 ~ 基調講演 「伝統構法を取り巻く状況の変化**  
山辺構造設計事務所 山辺豊彦氏

**15:00 ~ パネルディスカッション「これからどうなる、伝統構法」**

パネリスト  
綾部工務店 綾部孝司氏  
すまい塾古川設計室 古川保氏  
山辺構造設計事務所 山辺豊彦氏  
国土交通省 住宅局住宅生産課 木造住宅振興室 室長 越海興一氏  
立命館大学 グローバル・イノベーション研究機構 教授 鈴木祥之氏  
武藏工業大学 工学部建築学科 教授 大橋好光氏

司会進行  
三和総合設計 岩波正氏

コーディネーター  
工学院大学 建築都市デザイン学科教授 後藤治氏

**18:00 閉会**

# このままでは伝統構法の家がつくれない！

7月12日(土) 13:00 ~ 18:00 (開場 12:15)

会場：工学院大学

3F アーバンテックホール

参加費：2000円

築150年、200年という寺社や民家など、日本を代表する建物は「伝統構法」とよばれる、木を活かした、すぐれた職人の手の技術の結晶です。「伝統構法」は、戦後の復興期に劣悪な建物をはびこらせないようにと制定された建築基準法(以下、基準法と略します)には、位置づけがなされませんでした。早く・安く・大量に、特別な技能がなくてもつくれるようにという「最低基準」であったため、高い職人技術による時間をかけた家づくりは、そもそも対象ではなかったのです。

高度経済成長期に住宅産業が生まれ、経済効率優先の家づくりが主流になると、大工手刻みによる家づくりは少なくなり、今では「伝統構法」とよばれるようになりました。とはいえ、昔ながらの技を伝える大工は今なお全国に存在し、法律的には置き去りにされたまま、地道に木の家づくりに携わっています。ところが、地震や偽装が起きるたびに基準法が厳格になり、規制的な性格を強めていく中で、基準法に位置づけのない「伝統構法」はどんどんつくりにくくなる事態に陥っています。

一方で、ここ十数年、住宅の量より質に目が向けられるようになり、環境面や文化面から伝統構法を見直す動きも出てきています。自然素材である木、職人の手の技術といった、基準法制定時には学問的に扱いにくかったことも研究対象となり、経験則で語られてきた伝統構法を客観的に解析、評価する試みも始まっています。近い将来には、基準法に伝統構法の位置づけがなされるそうです。

今の基準法は基本的に、外力に対して「剛く耐えよう」という思想にもとづいています。外力を「柔らかく受け流す」発想にもとづく技術である伝統構法を、まったく違った価値観の基準法に位置づけるにあたっては、慎重に事を運ばなければならないでしょう。法に位置づけられることが、地域性や多様性といった伝統構法の幅をせばめる結果にならないよう、伝統構法による家づくりが本当にしやすくなることにつながるよう、わたしたちは現場から、行政や研究機関にはたらきかけています。国民の理解を広げるための啓発活動もしていきます。こうしたアクションのひとつとして、今回のフォーラムを開催します。

これからの木造住宅を考える連絡会

## これからの木造を考える連絡会

財団法人住宅産業研修財団

### 優良工務店の会

「大工育成塾」は、次代を担う若者を対象に伝統文化の継承を図ることを目的に、実技・座学の研修を行っています。

### 職人がつくる木の家ネット

職人が伝えてきた日本の木の家づくりには、住まい方、美、環境との共生など、未来に継承すべき要素が多くあります。それらを大切にした上での耐震性を確保したいと思います。

特定非営利活動法人  
**伝統木構造の会**

構造即意匠。大工職人によって確立された伝統構法の高度な技術と、日本人の美意識を継承し、現代社会に求められている、長寿命・環境負荷の少ない耐震的伝統構法の確立を追求します。

有限責任中間法人  
**日本曳家協会**

建築確認の厳格化で、古い家を移転する曳家工事もしにくくなっています。

特定非営利活動法人  
**日本民家再生リサイクル協会**

日本の美しい風景をかたちづくっている民家を未来に向けて活用できるしくみが必要です。

特定非営利活動法人  
**緑の列島ネットワーク**

近くの山の木で、木を活かした家づくりをする。それが日本の文化だけでなく環境も守ると思っています。

**申込み用紙 FAX 03-5216-3542** (同様の内容を info@minka.jp にお送りいただいても結構です)

お名前

ご所属

参加人数

人

連絡先 tel

E-mail

メッセージ